

医療安全倫理・モラル研修会 2016

(医療安全管理研修会)

— 院内の医療安全意識の改善方法 —

事前配布資料



会期: 2016 年 7 月 2 日(土)

会場: 東京大学法文 2 号館 2 階 31 番講堂

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

主催: 国際医療リスクマネジメント学会

(〒) 113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(電子メール) head.office02@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

参加者への注意

- 1) 会場受付の開始時間
2016 年 7 月 2 日(土)午前 8 時
- 2) テキストおよび領収書は 7 月 2 日朝の受付でお受け取り下さい。
- 3) 受講終了書は 7 月 2 日午後 5 時以降に受付でお渡しします。
- 4) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者に迷惑になりますのでご遠慮ください。

受講対象者： 国際医療リスクマネジメント学会ないし日本医療安全学会の学会員、医療施設経営者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者。

本セミナーは、医療安全活動を実施する際に必要となる医療安全の医療倫理・モラルの教育方法を学習し、医療安全文化の向上につなげるための提供するものです。

- (1) 本プログラムは学会認定「高度医療安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

学会認定「高度医療安全管理者」資格制度について

<http://www.jpscs.org/CRTLS.pdf>

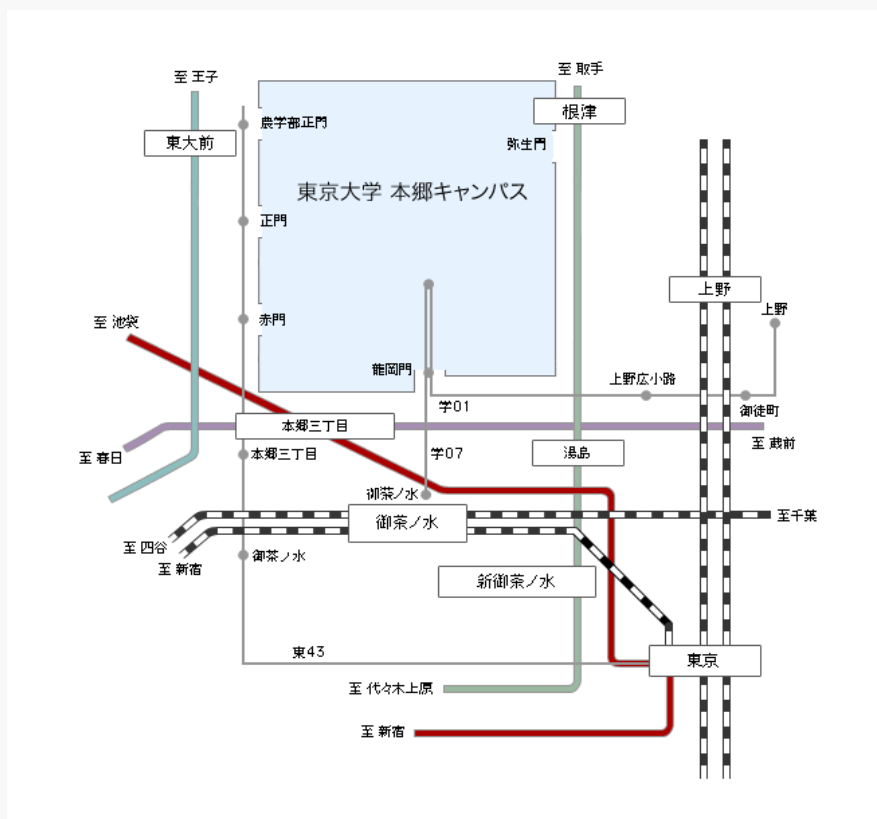
本研修会では認定試験を行いません。

すべての科目の履修完了後に資格認定申請される際には、本研修会の受講終了書のコピーも提出ください。

- (2) 本プログラムは、病院の安全対策として診療報酬を申請することができる「医療安全管理者・専従リスクマネージャーを対象とする安全教育プログラム」ではありません。

- (3) 本プログラムの知的財産権は国際医療リスクマネジメント学会に帰属します。

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車 都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

東京大学法文 2 号館 2 階 31 番講堂

TEL : 03-3812-2111(大代表)



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

- 東大安田講堂地下食堂
- 東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

2016 年 7 月 2 日(土) 午前 9 時～午後 5 時

東京大学法文 2 号館 2 階 31 番講堂

受付開始 午前 8 時
午前 9 時 開 会

午前 9 時～午前 9 時 15 分 (ガイダンス)

午前 9 時 15 分～午前 10 時 05 分 (総論)

医療安全と医療倫理の関係について

許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター・センター長、東大病院重症心不全治療開発講座元教授)

午前 10 時 15 分～午前 11 時 05 分 (講義)

医療関連死の事例からみた医療安全における医療倫理とモラル

深山 正久 (日本病理学会理事長、東京大学大学院医学研究科教授(人体病理学・病理診断学分野))

午前 11 時 15 分～12 時 (講義) 看護師の立場からみた医療安全モラルと院内の安全意識向上技術

新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

午後 1 時～午後 1 時 30 分 (講義) 有害事例から学ぶ医療安全の倫理とモラル

井上 清成 (井上法律事務所所長、弁護士、医師行政処分後の再教育研修元委員)

午後 1 時 30 分～午後 2 時 50 分 (シンポジウム I) 患者・遺族から学ぶ医療安全の倫理とモラル

オルガナイザー: 勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

・シンポジスト講演 各 20 分 60 分

勝村久司 (群馬大学附属病院 医療事故調査委員会委員)

木下正一郎 (医療版事故調推進フォーラム事務局、弁護士)

川田綾子 (患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋 副理事長)

・ディスカッション 20 分

午後 3 時～午後 5 時 (シンポジウム II) 院内職員を医療安全への取り込む

オルガナイザー: 渡邊 正志 (東邦大学大森病院院長補佐、医療安全管理部部長、消化器外科教授)

・シンポジスト講演 各 25 分 75 分

松村由美 京都大学医学部附属病院 医療安全管理室

渡邊正志 東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部

渡辺 誠 サクセスポイント㈱

・ディスカッション 35 分

医療安全文化の醸成の方法は?

チームの一員であるとの意識はいかに生まれるか?

対話をベースとした意識の向上について

・質疑応答 10 分

午後 5 時 全体閉会